

三河商人道

PART
205

(株)加藤英太郎写真場
代表取締役
加藤 純也君



青年部とは「まずは参加すること！」



【会社・仕事への思い】

中学から高校に進学する際に、両親が営む写真館の跡取りであることを意識しました。高校卒業後は実家を離れ東京で下宿し、フォトスタジオでアルバイトをしながら写真学科のある短大へ通いました。短大卒業後に家業を継ぐ形で入社したのが現在の会社です。

写真を写すだけが私の仕事ではありません。学校関係の取引先が多いことも有り、目線を合わせたコミュニケーションを図り写す相手の良い表情を引き出すことを特に大切にしています。



【青年部に入会されたきっかけ】

私が40歳になり以前から所属していた別の団体を卒業しました。卒業以降は1人で仕事をするのが多く世間を知る意味で所属できる団体を探していました。

その時に偶然会ったYEGの先輩から「青年部に入会したらどうか」と誘っていただいたことが青年部入会のきっかけです。



【思い出に残る青年部活動】

平成25年度から入会しましたが、入会2年目の安藤紀朋委員長のもと幹事を任せていただいたことが印象深いです。明るい委員会メンバーに囲まれたこともあり、初めての役職でしたが、とても貴重な経験ができました。また、今年のアキんど塾も印象深い青年部活動のひとつです。市内の高校へ委員会メンバーと共に訪問しましたが、高校生の就職活動時期と重複してしまい、当初全く人が集まらず苦労しました。苦労した分、思い返すと「楽しかった」と言える思い出となりました。

ただ、アキんど塾の上げが未だに実現していないことが心残りです(笑)

【趣味など】

趣味といえる程ではないですが、毎年スキーへ行っています。大学卒業後に高校のスキー合宿での撮影があり、仕事上の都合でスキーを始めましたが、その後プライベートでも行くようになりました。今年も長野県の志賀高原でスキーをする予定です。天気の良いスキー場を眺められるレストランでビールを飲みながらつまむ野沢菜は格別です。

野沢菜は長野県から取り寄せるほど大好物なので、趣味は野沢菜と言っても過言ではありません。

【青年部とは…】

青年部の活動に参加していれば、必ず得るものもありますし、仕事の話ができる場面も生まれます。卒業を目前に控え、私が参加出来ない時期があったからこそ、やり残したことや勿体無かったと感じることが多いです。



取材担当/育成委員会

鶴田実・鈴木博貴・鈴木友則
安藤紀明・大井敦史・小林正和
加藤大地・白井雅大